

令和4年度北海道科学技術奨励賞受賞者功績概要

氏名	表 和徳（40歳）		
	※ 年齢は令和4年4月1日現在		
所属・職名	北海道大学病院 助教	現住所	札幌市西区
<p><功績名></p> <p>「臓器うっ血をターゲットとした心不全の高精度診断法及び予後予測法の構築」</p> <p><功績の内容></p> <p>近年、高齢化社会の進展やライフスタイルの欧米化による高血圧症、糖尿病などの心血管疾患のリスク因子が増加していることから、心不全患者の急増が社会問題となっている。心不全の診断には問診や身体所見が基本となるが、心不全の症状・兆候は非常に多彩であるために、正確に診断することは容易ではない。さらに、もう一つの問題点として個々の心不全患者において、あとどれくらい余命が残されているかなどを予測すること（予後予測）は困難であり、適切な治療方針の選択ができずに、過剰な医療資源を投じている現状がみられることもある。それゆえこれらの問題点は、医療経済的にも喫緊の課題である。</p> <p>氏は、患者への負担の少ない超音波検査で心不全の診断と予後予測に関連する研究を行っている。特に心臓を標的とした心エコー図検査だけでなく、心臓以外の他臓器障害に注目して腹部エコーや肺エコーを用いて心不全を診断し、かつ予後予測をするユニークな研究を進めてきた。現在はこれらの研究成果を、より緊急性の高い救急医療現場に応用しており、本道の救急医療の質向上及び医療経済への貢献を目指している。</p> <p><経歴></p> <p>（略歴）</p> <p>平成23年 3月 弘前大学医学部医学科卒業</p> <p>平成23年 4月 北海道大学病院及び北海道内の関連病院で医師として勤務</p> <p>平成31年 3月 北海道大学大学院医学研究院卒業</p> <p>令和 2年 4月 メイヨークリニック心臓血管部門 リサーチフェロー</p> <p>令和 3年 4月 日本学術振興会 海外特別研究員</p> <p>令和 4年 4月 北海道大学病院 循環器内科助教、北海道大学病院 超音波センター副部長</p> <p>～現在</p> <p>（受賞歴）</p> <p>平成30年10月 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会 Young Investigator's Award 奨励賞</p> <p>平成31年 3月 日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成賞</p> <p>令和 2年 3月 北海道大学大学院医学研究院・医学部医学科 高桑榮松奨学基金奨励賞</p> <p>令和 3年 2月 北海道大学医学部同窓会フラテ研究奨励賞</p> <p>令和 4年 7月 日本肺高血圧肺循環学会 Young Investigator's Award 優秀賞</p>			